

ICU部門患者情報管理システム 仕様書

- I ICU部門患者情報管理システムは以下の構成からなること
- 1 ICU部門患者情報管理システム<ハードウェア/サーバ部>
 - 2 ICU部門患者情報管理システム<ハードウェア/クライアント部>
 - 3 ICU部門患者情報管理システム<ハードウェア/周辺機器等>
 - 4 ICU部門患者情報管理システム<ソフトウェア>
 - 5 その他
- 1 ICU部門患者情報管理システム<ハードウェア/サーバ部>は以下の構成からなること。
- | | | |
|-----|-----------|-----|
| 1-1 | メインサーバ | 1 式 |
| 1-2 | バックアップサーバ | 1 式 |
| 1-3 | その他サーバ | 1 式 |
| 1-4 | 管理者用端末 | 1 式 |
- 2 ICU部門患者情報管理システム<ハードウェア/クライアント部>は以下の構成からなること。
- | | | |
|-----|-------------------------------|------|
| 2-1 | クライアント端末(電子カルテ端末相乗りデスクトップ型仕様) | 10 式 |
| 2-2 | クライアント端末(電子カルテ端末相乗りノート型仕様) | 10 式 |
- 3 ICU部門患者情報管理システム<ハードウェア/周辺機器等>は以下の構成からなること。
- | | | |
|-----|------------------------|-----|
| 3-1 | カラーレーザープリンタ(電子カルテプリンタ) | 1 式 |
| 3-2 | ネットワーク | 1 式 |
- 4 ICU部門患者情報管理システム<ソフトウェア>は以下の構成からなること。
- | | | |
|------|--------------|-----|
| 4-1 | 基本機能 | 1 式 |
| 4-2 | 患者基本情報 | 1 式 |
| 4-3 | 患者入退室管理機能 | 1 式 |
| 4-4 | ベッドマップ機能 | 1 式 |
| 4-5 | 経過表作成機能 | 1 式 |
| 4-6 | 週間経過表作成機能 | 1 式 |
| 4-7 | 水分出納機能 | 1 式 |
| 4-8 | スコア機能 | 1 式 |
| 4-9 | 医師指示簿作成機能 | 1 式 |
| 4-10 | マスターメンテナンス機能 | 1 式 |
| 4-11 | 印刷機能 | 1 式 |
| 4-12 | 医事請求伝票作成機能 | 1 式 |
| 4-13 | 検索・統計機能 | |
| 4-14 | 生体モニタ連携 | 1 式 |
| 4-15 | 病院情報システム | 1 式 |
| 4-16 | セキュリティ | 1 式 |
- 5 その他
- | | |
|-----|------------------|
| 5-1 | 役務(1) <工事、設置作業等> |
| 5-2 | 役務(2) <医療機器との接続> |
| 5-3 | 役務(3) <ウイルス対策> |

II 性能、機能に関する要件

1 ICU部門患者情報管理システム<ハードウェア/サーバ部>

※ICU部門患者情報管理システム/サーバ部は、以下に記載する仕様を満たすこと。

手術部門およびICU部門の患者情報管理システムは同一サーバを使用することとし、サーバハードはどちらかの仕様を満たしたサーバー式を導入すること。同一サーバで構築が不可能な場合は、各々にサーバを設置すること。別個の場合はシステム連携が取れること。

1-1 メインサーバ(クラスタサーバ)

- 1-1-1 CPUはIntel社製 XeonプロセッサE5-2609v3(6コア/1.90GHz/15MB)x2相当以上であること。
- 1-1-2 16GB以上のメモリを搭載すること。
- 1-1-3 ハードディスクはSASインタフェース、RAID1あるいはRAID1+0によるハードディスク冗長化、ホットプラグであること。
- 1-1-4 ネットワークインターフェイスは1000Base-T対応であること。
- 1-1-5 オペレーティングシステム(以下「OS」という。)はMicrosoft社製Windows Server 2012日本語版相当以上、もしくはRedhat Enterprise Linux 6.5(x86_64版)であること。
- 1-1-6 データベースソフトは、Microsoft社製SQL Server 2012、もしくは日本オラクル社製Oracle 12c相当以上であること。
- 1-1-7 メインサーバとは物理的に異なる同一サーバをもう1台備え、クラスタサーバとして設置すること。システムダウン時の負荷を考慮し、クラスタサーバは他のサーバとの兼任をさせることなく、独立したサーバであること。

1-2 バックアップサーバ

- 1-2-1 CPUはIntel社製E5-2603v3(6コア/1.60GHz/15MB)x1相当以上であること。
- 1-2-2 8.0GB以上のメモリを搭載すること。
- 1-2-3 ハードディスクはSASインタフェース、RAID1あるいはRAID1+0によるハードディスク冗長化、ホットプラグであること。
- 1-2-4 ネットワークインターフェイスは1000Base-T対応であること。
- 1-2-5 オペレーティングシステム(以下「OS」という。)はMicrosoft社製Windows Server 2012日本語版相当以上、もしくはRedhat Enterprise Linux 6.5(x86_64版)であること。

1-3 その他サーバ

- 1-3-1 本システムで要求される仕様を満たすために、必要に応じてWebサーバ、HISゲートウェイサーバ、AQサーバ、APPサーバ、GWサーバを必要に応じて設置すること。設置するサーバは以下の最低仕様を満たすこと。
- 1-3-2 CPUはIntel社製 XeonプロセッサE5-2420<1.90GHz×2>相当以上であること。
- 1-3-3 8.0GB以上のメモリを搭載すること。
- 1-3-4 ハードディスクはSASインタフェース、RAID1あるいはRAID1+0によるハードディスク冗長化、ホットプラグであること。
- 1-3-5 ネットワークインターフェイスは1000Base-T対応であること。
- 1-3-6 オペレーティングシステム(以下「OS」という。)はMicrosoft社製Windows Server 2012日本語版相当以上、もしくはRedhat Enterprise Linux 6.5(x86_64版)であること。

1-4 管理者用端末

- 1-4-1 システム構築上必要な場合、サーバ管理者が情報修正作業等を実施するための専用端末を1台有すること。その場合、以下の要件を満たすこと。
- 1-4-2 CPUはIntel社製 Core i5-3570プロセッサ<3.40GHz>相当以上であること。
- 1-4-3 4GB以上のメモリを搭載すること。
- 1-4-4 ハードディスクは100GB以上を有すること。
- 1-4-5 ネットワークインターフェイスは1000Base-Tに対応していること。
- 1-4-6 OSはMicrosoft社製Windows 7 Professional 日本語版相当以上であること。
- 1-4-7 サーバルックに搭載されるサーバのキーボード、マウス、ディスプレイを1台のキーボード、マウス、ディスプレイで扱うことができるようにCPU切替器を装備すること。
- 1-4-8 17inchカラー液晶ディスプレイ(解像度:1280×1024)を1面装備すること。

2 ICU部門患者情報管理システム<ハードウェア/クライアント部>

2-1 クライアント端末(電子カルテ端末(デスクトップ型)相乗り想定)

2-1-1 既存電子カルテシステム端末にアプリケーションをインストールして使用できること。

2-2 クライアント端末(電子カルテ端末(ノート型)相乗り想定)

2-2-1 既存電子カルテシステム端末にアプリケーションをインストールして使用できること。

3 ICU部門患者情報管理システム<ハードウェア/周辺機器等>

3-1 カラーレーザープリンタ(電子カルテ用プリンタ共有)

3-1-1 既存電子カルテシステムプリンタを共有して使用できること。

3-2 ネットワーク

3-2-1 病院情報システムのネットワークと共有するしない場合、もしくは部分的にローカルでネットワークを構築する場合は、病院指定の業者に作業依頼をし、その費用は落札したシステム構築メーカーが全額負担すること。

4 ICU部門患者情報管理システム<ソフトウェア>

4-1 基本機能

4-1-1 システムはクライアント/サーバ方式で構築すること。

4-1-2 ICU8床の患者情報管理に対応できる機能を有すること。

4-1-3 5年間分以上の患者データをサーバ内のハードディスクに保存する機能を有すること。

4-1-4 各ベットに設置する生体モニタの波形を最大80波形(10波形/台×8台)を30日間全て自動保存する機能を有すること。期間内に保存処理を実施した場合は、上記の患者データと同じ期間(1-1-3:5年間分以上)保存可能であること。また数値情報に関しては全て上記患者データと同じ期間(1-1-3:5年間分以上)保存可能であること。

4-1-5 各患者のベットサイドおよびスタッフステーションカウンタに設置してある電子カルテ端末と相乗りした、システム端末を設置すること。

4-1-6 ベッドマップ画面、患者情報画面、経過表画面、指示簿画面、週間経過表画面、水分出納画面、スコア画面、患者一覧画面、過去患者検索画面等から構成され、アイコンまたはタブによる画面切り替えを行う機能を有すること。

4-1-7 各サーバ、クライアント端末、生体モニタ、セントラルモニタの時刻は、院内のタイムサーバの時刻データと自動的に同期できる機能を有すること。
またシステムからの患者ID、漢字氏名、性別、生年月日、年齢、血液型、身長、体重情報を生体モニタへ自動転記ができる機能を有すること。

4-2 患者情報管理機能

4-2-1 患者氏名、ID、生年月日、性別、血液型、感染症、病名を入力する機能を有すること。

4-2-2 病院情報システムから自動的に取得される情報については、画面上で判別できる機能を有すること。

4-2-3 患者情報の選択肢を追加する場合、権限のある利用者が辞書機能(マスタメンテナンス機能)で追加作業をできること。

4-2-4 個々の入力欄で、漢字変換モードオフ、ひらがな入力、カタカナ入力、半角カナ入力などの入力設定が可能な機能を有すること。

4-3 患者入退室管理機能

4-3-1 患者入床、退床操作を行う機能を有すること。

4-3-2 患者入床、空床状況を示す患者一覧を表示する機能を有すること。

4-3-3 患者一覧には、入室日時、診療科、患者ID、患者氏名、病名を一覧で表示できる機能を有すること。

4-3-4 緊急入室患者の場合は、患者IDがない状態で仮の患者登録を行い、生体モニタのデータ取り込みや経過表作成ができること。後に患者IDを確定入力した場合には、HISと患者情報の連携が自動で可能なこと。

4-3-5 表示している患者一覧画面の内容をCSV形式でファイル保存できること。

4-4 ベッドマップ機能

4-4-1 ベッドマップ上の患者名をクリックまたはタブを選択すると、選択した患者の経過表画面を呼び出せること。

4-4-2 ベッドマップ画面では、各患者の感染症の有無をアイコンで確認できる機能を有すること。

4-4-3 以下の状態が発生しているかどうかの有無を患者ごとにマークで確認できる機能を有すること。

- ・新規指示、変更指示がある状態
- ・実施時刻になっても未実施で残っている指示がある状態
- 4-4-4 入室予定患者一覧を同時に表示でき、実際の患者入室ベッドへの登録操作をドラッグアンドドロップ操作で可能なこと。
- 4-4-5 患者のベッド移動操作をドラッグアンドドロップ操作で可能なこと。
- 4-5 経過表作成機能
 - 4-5-1 経過表画面は、バイタルサイングラフ、モニタ数値、IN/OUT、人工呼吸器実測値、観察、定期処置、処置、特殊治療、生化学・血液ガス、デイリー、緊急モード(緊急入力)の項目から構成され、それぞれの項目は表示／非表示の選択ができる機能を有すること。
 - 4-5-2 バイタルサイングラフは5つ以上パラメータのグラフを表示でき、各グラフは表示／非表示の切り替えを行う機能を有すること。
 - 4-5-3 経過表のモニタ数値、観察、定期処置、処置、特殊治療、OUT、人工呼吸器実測値項目はセット機能により設定されたセット名を選択することにより、表示項目を任意のタイミングで変更できる機能を有すること。
 - 4-5-4 経過表のイベント、モニタ数値、観察、定期処置、処置、特殊治療はそれぞれの項目で指定をして一覧表示ができること。
 - 4-5-5 経過表全体の時間幅を1時間、2時間、4時間、8時間、12時間、24時間に変更する機能を有すること。
 - 4-5-6 ベッドサイドモニタから出力されたバイタルサインデータ(数値)の自動記録に加え、確認したデータ、及び手入力されたデータをバイタルサイングラフに追加する機能を有すること。
 - 4-5-7 バイタルサイングラフで一定期間ごとに自動でトレンド値を確定し、プロットする場合は、自動プロット間隔を指定できること。
 - 4-5-8 バイタルサイングラフの表示形式は、モニタデータ、確認データ、モニタデータ+確認データのいずれかを選択する機能を有すること。
 - 4-5-9 INの処方、注射項目に対する時間指定指示の場合は該当する時間のセル内に指示名称を表示する、またはマウスポインタをあて指示内容を表示する機能を有すること。
 - 4-5-10 処方、注射の適宜指示の場合は経過表上の処方(注射)適宜欄をダブルクリックすることにより、該当する指示が表示され実施入力を行う機能を有すること。
 - 4-5-11 INの持続、輸血項目は指示受けを行うと指示名称と指示速度が経過表のIN項目に自動表示される機能を有すること。
 - 4-5-12 INの持続、輸血項目の指示を開始・交換・終了する機能を有すること。
 - 4-5-13 INの持続、輸血項目の指示に対して投与量を入力する機能を有すること。
 - 4-5-14 INの持続、輸血項目の投与量を入力する際に、残量入力や、投与量自動計算した入力機能を有すること。
 - 4-5-15 INの持続、輸血項目の投与量の表示は、時間量、累計、時間量/累計を選択できること。
 - 4-5-16 In Totalに表示されたINの×時間を2時間、3時間、4時間、6時間、8時間、12時間、24時間に変更する機能を有すること。In Totalに表示されたINの×時間を2時間、3時間、4時間、6時間、8時間、12時間、24時間に変更する機能を有すること。
 - 4-5-17 水分OUTの項目に尿量やドレーン排出量を入力する機能を有すること。
 - 4-5-18 血液OUTの項目に出血量やドレーン排出量を入力する機能を有すること。
 - 4-5-19 人工呼吸器実測値項目は機種、状態、流量、吸気圧、換気モード、濃度数等を入力する機能を有すること。
 - 4-5-20 人工呼吸器実測値項目で入力したデータを一覧表示する機能を有すること。
 - 4-5-21 観察項目として、意識評価、対光反射等に対する内容を入力する機能を有すること。
 - 4-5-22 観察項目のうち、内瞳孔/対光反射およびGCSでは、専用の入力ウィンドウを表示し、簡便に結果を入力する機能を有すること。また、MMT、鎮静スケール、疼痛スケール、p-CAMICU(せん妄評価スコア)、WAT-1(離脱症候群評価スコア)、便 Bristol スケール等の項目を入力・表示できること。
 - 4-5-23 定期処置項目として、体位変換、清拭等に対する内容を入力する機能を有すること。
 - 4-5-24 観察、定期処置項目をリストから選択する機能を有すること。

- 4-5-25 観察、定期処置項目は患者状態の変化に応じて、任意のタイミングで表示・非表示にする機能を有し、かつ重要度に合わせ任意に項目表示の順番の並び替えを行う機能を有すること。
- 4-5-26 観察、処置項目で入力した内容は、経過表を15分表示(表示間隔1分)にした場合でも、該当する時間軸の部分に表示される機能を有すること。
- 4-5-27 前回の入力と同じ場合は、カテゴリー単位(例えば観察項目)でコピーして、そのデータを利用できる機能を有すること。
- 4-5-28 処置項目(Vライン挿入など)を入力する機能を有すること。
- 4-5-29 特殊治療項目として、CHDF、IABP、ECMO、低体温の内容を入力する機能を有すること。
- 4-5-30 生化学、血液ガス検査結果を数値表形式で記録する機能を有すること。□
また、検査結果は該当する時間軸上のセルに数値表形式で表示される機能を有すること。
- 4-5-31 デイリーデータ(身長、体重、挿管チューブ等)を入力する機能を有すること。
- 4-5-32 デイリーデータは当日の最新データを常に表示する機能を有すること。
- 4-5-33 イベント、処置を簡易入力を行う緊急モード機能(緊急入力機能)を有すること。
- 4-5-34 イベント(マーク)項目では、イベントを入力できる機能を有すること。
- 4-5-35 シェーマ機能では、テンプレートから図形を選択して作成する機能を有すること。
- 4-5-36 緊急入力モードを終了することにより、その内容を経過表のイベント欄、処置欄に分類し表示できる機能を有すること。
- 4-5-37 無呼吸・除脈・チアノーゼなどのイベント入力する機能を有すること。
- 4-5-38 経過表の体外循環で入力したIN、OUT、IN TOTAL、OUT TOTAL、IN/OUTバランスの情報を表示する機能を有すること。
- 4-5-39 経過表のIN/OUTバランスを表示し、体外循環のIN/OUTバランスと計算したTOTALバランスを表示する機能を有すること。
- 4-5-40 機器設定項目では、各種外部機器の数値データを取得して表示する機能を有すること。
- 4-5-41 機器設定(手入力)項目では、マニュアルでの機器設定を入力する機能を有すること。
- 4-5-42 サイン項目では、マスタから担当看護師の氏名を入力する機能を有すること。
- 4-5-43 記事項目では、特記事項等の記事を手入力する機能を有すること。
- 4-5-44 人工呼吸管理日数、中心静脈ライン挿入日数、動脈ライン挿入日数などの各デバイスの実施日数が自動計算表示できる機能を有すること。
- 4-5-45 経過表には、出生体重あるいはdry weightと現在の体重の二種類の表示が可能であること。薬剤投与量の計算には現在の体重を使用すること。
- 4-6 週間経過表作成機能
 - 4-6-1 1週間を1画面とした経過表を表示する機能を有すること。
 - 4-6-2 週間経過表においても、経過表と同様に入力可能なこと。
- 4-7 水分出納機能
 - 4-7-1 時間当たりのIN・OUTを棒グラフで表示を行い、水分出納を参照する機能を有すること。
- 4-8 スコア機能
 - 4-8-1 APACHE2,SOFA,ISS,RTS,MSOF,MOD,PRISM,PIM2,PIM3のスコアを算定可能な機能を有すること。現時点で不可項目がある場合、算出の基になる最悪値等を出力できること。
 - 4-8-2 予測死亡率を計算可能な機能を有すること。
 - 4-8-3 体温、血圧などの情報については、生体モニタなどから取得された情報を元に入室時から24時間単位で、最上値、最下値を自動取得可能な機能を有すること。
 - 4-8-4 各種スコア結果をリスト表示可能な機能を有すること。
- 4-9 医師指示簿作成機能
 - 4-9-1 患者毎、指定された日付け毎に、当該患者の指示一覧を表示する機能を有すること。
 - 4-9-2 輸液、注射、輸血、処方、栄養、緊急、呼吸器、特殊治療、その他指示に関する指示機能を有すること。
人工呼吸器指示簿は人工呼吸器機種、人工呼吸モード、流量、吸気圧、換気モー

- ド、酸素濃度、一酸化窒素流量・濃度、窒素流量等を入力する機能を有すること。
- 4-9-3 特殊治療項目として、HD/HF/CHD/CHF/CHDF、腹膜透析、アフレーシス、IABP、ECMO、低体温、陽陰圧体外式人工呼吸器(RTX)、肺内パーカッションベンチレーター(IPV)の指示を入力する機能を有すること。
 - 4-9-4 指示変更の内容がすぐに判断できるように、薬剤の加薬、呼吸器設定の変更などがあった場合は、変更点に★マークなどで変更部分が認識できる表示機能を有すること。
 - 4-9-5 中止された指示は、中止を表す表示色で表示される機能を有すること。
 - 4-9-6 指示の内容は、中止の指示をしない限り、次の日の指示簿に自動的に継続される機能を有すること。
 - 4-9-7 輸液・注射の指示として、ルート、基本薬(名称、数量)、加薬(名称、数量)、投与速度、指示コメントが入力できる機能を有すること。
 - 4-9-8 新規指示、指示更新を通知するメッセージを、指示簿画面、経過表画面に表示する機能を有すること。
 - 4-9-9 指示受けされた輸液の名称は、経過表のIN部分に自動的に表示される機能を有すること。
 - 4-9-10 2段階に希釈した薬剤の入力に対応できること。
 - 4-9-11 投与速度の入力から γ 値を自動計算でき、またその逆も可能な機能を有すること。
 - 4-9-12 看護師の権限で経過表上から指示を作成する機能を有すること。
 - 4-9-13 承認実施を行うと、経過表上で実施された旨を通知するメッセージ、またはマークを表示する機能を有すること。
 - 4-9-14 承認実施を行うと、指示簿上では入力した看護師が指示受け欄に登録され、指示者の欄が空白で表示され、指示追認されていない旨がわかるように表示される機能を有すること。
 - 4-9-15 指示者が追認する機能を有すること。
 - 4-9-16 輸液、注射、輸血、処方、呼吸器、特殊治療、その他指示の指示を任意の名称でセット化する機能を有すること。
 - 4-9-17 指示作成時、必要に応じて計算体重を使用する機能を有すること。
 - 4-9-18 指示実施時、ダブルチェックを行う機能を有すること。
 - 4-9-19 指示実施時、バーコードを用いて3点認証する機能を有すること。
- 4-10 マスターメンテナンス機能
- 4-10-1 イベント、体位、意識、観察、呼吸、OUT、処置に関して、実施入力の際に表示される選択項目の内容を設定できる機能を有すること。
- 4-11 印刷機能
- 4-11-1 経過表、医師指示簿を印刷する機能を有すること。
 - 4-11-2 レポートサイズはレポートの種類に応じA4サイズ印刷する機能を有すること。
- 4-12 医事請求伝票機能
- 4-12-1 医事請求伝票機能は、以下の要件を満たすこと。
 - 4-12-2 入室中に使用した1日分の薬剤や処置等の情報の入力、表示ができること。
 - 4-12-3 入室中に使用した薬剤、輸液などを自動表示できる機能を有すること。
 - 4-12-4 薬剤単位を登録することにより、使用量からアンプル数、ボトル数を自動算出できる機能を有すること。
 - 4-12-5 麻薬伝票作成・印刷機能を有すること。
 - 4-12-6 帳票として紙に印刷できる機能を有すること。
 - 4-12-7 帳票として特定の電子カルテ端末より参照、もしくはPDFファイルに変換して出力できる機能を有すること。Web参照かPDF出力かは病院と協議とメーカー結果して決定するものとする。
- 4-13 検索・統計機能
- 4-13-1 検索統計機能に関して以下の要件を満たすこと
 - 4-13-2 日単位、月単位などの入室患者一覧を表示、印刷できる機能を有すること。
 - 4-13-3 患者情報から各種統計内容を表示、出力できる機能を有すること。
 - 4-13-4 患者情報からベッド利用状況や、診療科別集計、処置別集計等の統計機能を有すること。
 - 4-13-5 患者属性データ、およびバイタルサインデータを検索条件として、該当患者を検索で

きる機能を有すること。。また、以下の方式で検索できること。

- ・指定型: 病名、術式などを検索
- ・範囲型: 生年月日、入室日、退室日などを、日付や期間を指定して検索
- ・複合型: 病名、術式などを複合指定して検索

- 4-13-6 検索対象として、任意の期間を設定できる機能を有すること。また、前月・今月・本日はワンクリックで指定できること。
 - 4-13-7 検索条件として、論理演算式を使用できる機能を有すること。
 - 4-13-8 検索条件を保存し、その検索条件を再検索時に使用できる機能を有すること。
 - 4-13-9 検索結果は、検索条件およびその他の患者情報を含めてリスト表示できること。また、検索結果をCSVで出力できる機能を有すること。
 - 4-13-10 検索結果は、該当件数を表示できる機能を有すること。
 - 4-13-11 検索結果の表示リストから、該当患者の各種画面を起動できる機能を有すること。
 - 4-13-12 患者基本情報からの統計・検索だけでなく、システム上のトレンドなどの生体情報からの検索、さらに複合検索が行なえること。またそのデータに基づく各種統計処理も行える機能を有すること。
- 4-14 生体モニタ連携
- 4-14-1 既存生体モニタからの数値データを1分間隔で取込みできる機能を有すること。
 - 4-14-2 生体モニタの波形を最大80波形(10波形/モニタ×8台)を30日間全て自動保存する機能を有すること。期間内に保存処理を実施した場合は指定のサーバ保存年数保存可能であること。数値情報に関しては全ての指定のサーバ保存年数保存可能であること。
 - 4-14-3 生体モニタ以外に、以下の機器との接続する機能を有すること。取り込まれたデータはサーバで管理を行い、経過表等に必要なデータを反映させることができること。接続方法を生体モニタ経由やシステム取込端末経由などは問わないものとする。
 - ・酸素モニタ(IMI社製:NIRO-200)
 - ・循環動態モニタ(TOKIBO社製:PICCO)
 - ・頭蓋内圧モニタ(コッドマン社製:ICPセンサー)
 - ・人工呼吸器(COVIDIEN社製:840)
 - ・人工呼吸器(COVIDIEN社製:980)
 - ・人工呼吸器(フクダ電子社製:SERVO-U)
 - ・人工呼吸器(Drager社製:V500)
 - ・人工呼吸器(フィリップス社製:V60)
- 4-15 病院情報システム(以下「HIS」)連携に関して以下の要件を満たすこと。
- 4-15-1 HIS端末との相乗りを行うこと。HIS端末のスペックが相乗りするのに不十分な場合、スペックを満たすための費用分担については、病院と別途協議すること。
 - 4-15-2 本アプリケーションで選択している患者、ログインしている利用者の情報を引数とし、本アプリケーションから直接、ログイン、患者選択した状態でHISのアプリケーションを起動できること。
 - 4-15-3 HISからICUへの移動オーダーを受信し、患者予定一覧に表示する機能を有すること。
 - 4-15-4 HISから患者基本情報(プロフィール情報)を受信し、患者属性情報として利用する機能を有すること。
 - 4-15-5 緊急入室患者として患者IDがない状態で登録された患者のデータは、後から患者IDを入力した場合に自動的に電子カルテと連携を開始できること。
 - 4-15-6 HISから中央検査室での血液ガス分析装置の結果を受信し、経過表データに反映する機能を有すること。
 - 4-15-7 HISから薬剤の処方オーダーを受信し、指示簿データとして展開できる機能を有すること。処方オーダーを実施した場合、実施情報がHISに連携すること。
 - 4-15-8 利用者マスタ、薬剤マスタをHISと連携する機能を有すること。
 - 4-15-9 HISからの患者IDを引数にしたWEB呼び出しに対応できる機能を有すること。
 - 4-15-10 特別なアプリケーションを用いずに、HISのWEBブラウザから本システムの経過表、指示簿、週間経過表を参照できる機能を有すること。
 - 4-15-11 WEB画面で表示される内容は参照した時点の情報であること。
 - 4-15-12 WEB経過表の一画面に表示する時間幅は参照者がWEB画面で選択できる機能を

有すること。

- 4-15-13 カルテ開示の要求に対応可能なこと。
- 4-16 セキュリティーに関して以下の要件を満たすこと。
 - 4-16-1 ユーザーIDおよびパスワード入力によるユーザー認証を行う機能を有すること。IDおよびパスワードはHISのそれと連携すること。
 - 4-16-2 本システムのデータの入力、辞書(マスター)内容の修正、指示の発行に関して、利用者ごとの権限を管理する機能を有すること。
 - 4-16-3 一定時間経過後に自動的にログオフする機能を有すること。
 - 4-16-4 ログオフした場合でも、経過表、指示簿などの参照は可能とし、ログオフの状態を入力を行う際にはユーザー認証画面が表示されること。
 - 4-16-5 入力された情報の変更履歴を利用者が確認できる変更履歴管理画面を有すること。
 - 4-16-6 システムの操作ログを確認する機能を有していること。
- 5 その他
 - 5-1 役務(1) <工事、設置作業等>
 - 5-1-1 サーバの設置場所は、当院システム室奥のサーバー室とすること。
 - 5-1-2 サーバの稼働に必要な電源、ネットワーク配線は、病院側と協議の上準備すること。
 - 5-2 役務(2) <医療機器との接続>
 - 5-2-1 今回のシステム稼働において必要となる既存医療機器、および既存システムとの接続設定にかかる費用は全て落札者の負担とすること。
 - 5-3 役務(3) <ウイルス対策>
 - 5-3-1 今回導入するシステムのうち、医療機器、サーバ機器を除く、およびクライアント端末には、当院指定のウイルス対策用ソフトウェアを適用すること。
 - 5-3-2 ウイルス対策ソフトは、病院情報システム(HIS)から定期的に配信される最新のパターンファイルを取得し、各サーバ、クライアント端末に適用できる仕組みであること。
- 6 性能以外に関する要件
 - 6-1 各クライアント端末および付属装置は、当院担当者の指定する場所に設置すること。
 - 6-2 機器の搬入、据付、配線、配管、調整については、当院の診療業務に支障をきたさないよう職員の指示に従い実施すること。
 - 6-3 設置については、納期・工程等のスケジュールについて事前に打ち合わせを行い、そのスケジュールに従い完了すること。
 - 6-4 全体スケジュールを明確にしたスケジュール表を提出すること。
 - 6-5 本システムが正常に動作するように、点検、調整を行える体制を有すること。
 - 6-6 保守請負業者は、医療機器修理業の認可を受けていること。
 - 6-7 請負業者は、システムの安定保守を努めるために、24時間365日のサービスセンタを設けていること。
 - 6-8 夜間、休日などに修理が発生した場合、速やかに対応するため、現地に対応スタッフを仙台市内に備えていること。
 - 6-9 納入後1年間は、通常の使用により故障した場合の無償保証に応じること。
 - 6-10 納入後1年を経過した際には、別途有償保証についての内容を明示し、当院関係者と協議し合意の上、契約締結するものとする。
 - 6-11 システム構築にあつたては、病院とその詳細について協議すること。
 - 6-12 納入後1年以内の通常のバージョンアップには、無償で対応すること。その範囲については病院と協議するものとする。
 - 6-13 次回部門システム更新時にデジタルのデータベースを開放することで、ベンダー変更の選択肢を提供すること。
 - 6-14 電話回線を利用して、リモートによるオンラインサポートが実施できること。
 - 6-15 リモートルータは着信のみで着番指定であること。
 - 6-16 説明書、操作マニュアルは日本語で表記されたものを1部以上準備すること。